



こんにちは！いつもお世話になっております。

HIKE 行政書士法人のニュースレター「鳩の森」第2号をお送りします。

前号を初夏の5月にお送りしてから、早3ヶ月が経ちました。

皆様いかがお過ごしですか？

夏休みを取られた方も多いと思います。

HIKE でも交代で休みを頂き、私、熊谷はイタリア旅行へ行ってきました。

イタリアも日本同様に暑かったけど、ローマ・フィレンツェ・ベネチアの各地を回って、絶景や芸術やイタリアンとお酒、などなどを堪能してきました。またぜひ行きたいです。

今号は、その旅行で感じたあれこれのコラムからスタートです。



夏休み イタリア旅行で思ったこと

熊谷 竜太

7月上旬に早めの夏休みをいただき、イタリア旅行に行ってきました。

連日 35 度前後の猛暑。(同時期東京は30度位でした。) いや～暑かったです！

イタリア人と言えば、「陽気」というイメージがあります。

実際には、道行く人や飲食店の店員やバスや鉄道の職員、ホテルのフロント係など、私が接した多くの人は皆が陽気というわけではなく、むしろ気難しそうな人が多い印象でした。



旅行者に陽気に接してくるのは、たいてい商売っ気のある人たちです。

街でにわか雨に遭ったときには、どこからともなく傘を売るおじさんがやってきますし、レストランで食事をしていると、流しで楽器を演奏する人や、女性にバラの花を売りつけてくる人が現れます。

離島から帰りの観光船に乗った時には、船員の一人がなぜかトートバッグを売っていて、私が日本人とみるや、♪ちょっと待って、ちょっと待って、お兄さん～♪

と陽気に話しかけてきて、バッグを売ろうとします。

日本人観光客はそういったカモになりやすいようです。



ローマのコロッセオ

売り込みに来られると、面倒ではありましたが、彼らは皆陽気に（陽気さが突き抜けてる！）話しかけてくるので、あまり悪い印象は持ちませんでした。

それよりも、最適のタイミングで現れて商売をする図々しさに、良い意味で感心してしまいました。

雨が降ってきたら傘を、食事客には音楽や花を、おみやげを買って荷物がいっぱいの船客にはトートバッグを、人がその時必要な物を、必要なタイミングで提案する姿勢は、見習うべきだな、と感じました。

経営者と組織

木下 謙一

HIKE 行政書士法人は現在、行政書士3人（石橋、熊谷、木下）で運営していますが、今後は雇用してスタッフを増やし、組織を大きくしていきたいと思っています。そこで、自身が経営者として今、考えていることを綴ってみました。



【経営者と従業員には垣根がある】

むしろ垣根がないといけないのではと思っています。垣根と言っても仲が悪いとかコミュニケーションが希薄とかではなく、組織として運用していくには経営者と従業員では取り組む事柄・業務において区別していかないといけないという、役割分担という意味での垣根です。経営者・従業員、個々の役割を自覚しながら取り組んでいくことで、組織を築いていきたいと考えています。

【慕われる経営者とはどんな人なのだろう】

私が前職で従業員として働いていた時、行なった業務（実務的な内容）を理解してくれて、「お疲れ様」と言ってくれる上司を慕っていました。行なった業務に対する評価が対価や待遇のみでなく、実際の業務の内容を理解して掛けてくれる労いの言葉に活力をもらった思い出があります。私自身、従業員から慕ってもらえる経営者であり続けたいという思いがあります。そして、慕われることは、組織を築いていく上で経営者に課された役割のひとつなのではないかとも思っています。

【風通しの良い職場という考え】

組織を大きくしていく上で従業員の力は必須であると考えています。経営者のみで事業を進めていても、出来ることの限界があると思っています。そして、従業員には組織を大きくしていくこと（より良くしていくこと）を共通の目的として取り組んでほしいという思いがあります。その為に経営者として従業員にできることは、事業をどう進めていこうと考えているのかを正直に伝えていけたらと思っています。それを聞いてもらって、共感してくれる・意欲的に取り組んでくれる人を、従業員（組織の仲間）として、みんなで事業に取り組んでいきたいというのが私の理想です。



以上が私の考えていることです。拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。皆さんの会社・組織ではいかがでしょうか？皆さんのお考えもお聞かせください。

シンプルに考える

森川亮
Ryo Morikawa

100%集中する
本当に大切な1%に



「シンプルに考える」は、経営者として成功するために必要な考え方。シンプルに考えることで、複雑な問題も簡単に解決できる。本書は、経営者だけでなく、すべてのビジネスパーソンに読んでほしい。LINE CEO 退任後、はじめて著した仕事の本。

■書評 『シンプルに考える』 森川 亮（著） ダイヤモンド社

タイトルは『シンプルに考える』だが、中身は最先端の組織論を語っているよう。「偉い人」「統制」「情」「ビジョン」「計画」はいらないと、「会議」「情報共有」もしないと言う。大事なのはユーザーのニーズに応え続けること。それができる社員が何にも縛られずに働ける環境をつくること。できなければ降格。シンプルで厳しい。自分の考えは甘いし、環境はぬるま湯だな、と思わされます。「成功は捨て続ける」という言葉通り、森川氏自身がLINE を退職して新たな挑戦を始めているというもさすが。 石橋 俊之



アイスのトッピング ちょい足しレシピ

～ネットで話題のちょい足しレシピからビビビと感じた厳選レシピ～



石橋 俊之

東京は暑い日が続いており、この原稿を書いている数日は35度を超えることもしばしば。そんな暑いに食べたいものと言えば・・・
そうです。アイスクリームです。








僕はレディーボーデンのバニラが好きで、自宅の冷凍庫に完備しているのですが、「いつも同じバニラ味で飽きてきたなー」という時があります。

そ・こ・で、今回はバニラアイスにちょい足ししておいしくいただく方法を検証してみました！

ネットで話題のちょい足しレシピから、ビビビと感じた厳選6レシピ。

HIKE 行政書士法人の3人で食べ比べました。

【評価方法】 「いける！・・・◎」「まあまあ・・・○」「無理・・・△」の三段階で評価

<p>①オリーブオイル+塩</p> 	<p>石橋○ 熊谷○ 木下◎</p> <p>ネットで好評価を得ていたこちらのレシピですが、3人揃って絶賛するほどのおいしさではありませんでした。ただ、「塩バニラにオイルのコツリ感が合う(木下)」「スイカのような(熊谷)」「フルーツみたいな味(石橋)」と通常のバニラ味とは違った風味が楽しめます。</p>
<p>②天かす</p> 	<p>石橋◎ 熊谷◎ 木下○</p> <p>今回のちょい足しで一番評価の高かったのがこちらのレシピ。「クッキー&クリームみたい(熊谷)」「サクサク感がアイスに合う(石橋)」と2人が高評価。「若干、油っぽくなる(木下)」という意見もありましたが、食感が楽しめ、甘さが引き立つという意外な結果に。</p>
<p>③インスタントコーヒー</p> 	<p>石橋△ 熊谷△ 木下○</p> <p>思ったよりも評価が伸びなかったのがインスタントコーヒー。サクサクした感じが楽しめて食べているときはおいしいのですが、後味が、ものすごく苦い。「少し加えたくらいがちょうどいい(木下)」という意見も。</p>
<p>④バルサミコ酢</p> 	<p>石橋○ 熊谷△ 木下△</p> <p>残念ながら、熊谷と木下が酸っぱいのが苦手ということで高い評価は得られず。確かに量が多いとバルサミコ酢の酸っぱさが鼻を突きます。適量なら「甘酸っぱいフルーツ味(石橋)」という評価も。</p>
<p>⑤粉チーズ</p> 	<p>石橋△ 熊谷○ 木下○</p> <p>「チーズケーキみたい(木下)」という好意的な意見もありましたが、「チーズの粉感がもっさりする(石橋)」「チーズの味があまり引き立たない(熊谷)」と全体的には伸び悩みました。</p>
<p>⑥オレオ</p> 	<p>石橋○ 熊谷◎ 木下○</p> <p>「間違いない！(熊谷)」「無難に美味しい(石橋)」とイメージ通りの味となったちょい足しでしたが、甘いバニラアイスに甘いクリームを挟んだオレオなので、甘さがToo muchに感じる人もいるかもしれません。</p>

総じて「そのままの方がおいしい」という、残念な結果となりました。個人的には天かすはおいしかったので家でもやろうと思っています。サクサク感がアイスに合いますよ。ぜひ、職場で、自宅で、お試しあれ！

「鳩の森」のご感想をいただきました！

NPO 法人トータルファミリーサポートあゆみ様 (<http://www.tfs-ayumi.jp>) より、前号（創刊号）をお読みいただいたご感想をお寄せいただきました。ありがとうございます！

※「鳩の森」バックナンバーは、HIKE のホームページ (<http://g-hike.com/291>) からご覧いただけます。

【ご感想】

ニュースレター、とても興味深く拝見させていただきました。

ドーナツのページはパッと目を引くので、楽しく共感しながら読みました。

「21 世紀の資本」は私の周りでも話題になっていた本で、私には難しい…と敬遠しておりましたが、読んだのも同然！というように 私でもざっくり理解したような気になってしまいました。

恥ずかしいけど 自分にできる「投資」は何だろう??って真剣に考えています。

普段考えないことを考えるのって、ちょっと笑っちゃうんですが…

リフレッシュできたのは事実です。

又、楽しみにしております。

【HIKE 熊谷より】

ご感想いただきまして、ありがとうございます。

ドーナツはみんなでワイワイ食べ比べて、結構楽しかったです。今号では食べ比べ企画第 2 弾を掲載していますので、ぜひお楽しみください。

「21 世紀の資本」は、難しいと敬遠されている方も多いのではないかと、ということで記事にしました。考えるきっかけにさせていただけてとても嬉しいです！



編集後記

編集長の熊谷です。「鳩の森」第 2 号、いかがでしたでしょうか。

前回好評だった「食べ比べ企画」第 2 弾としてアイスのちょい足しレシピを取り上げました。

まだ残暑は続くと思いますので、気になったトッピングがありましたらぜひ試してみてください。

「経営者と組織」は、普段熱い思いを語ることが少ない木下の記事。仲間の私も、へ～こんなこと考えていたんだ、なんて思ったり、頼もしく思ったり。

また、今号では HIKE 行政書士法人で NPO 法人の設立をお手伝いさせていただいたお客様のインタビュー冊子を同封しました。当事務所サイトに「お役様の声」として載せるために作ったインタビュー記事です。手前味噌ですが、HIKE の業務に取り組む姿勢も行間から感じていただけるかも、なんて思っています。ぜひお読みください。

Hike
行政書士法人

発行：HIKE 行政書士法人 担当：石橋・熊谷・木下
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-7-4-4A

電話：03-6423-7158 営業時間：平日 10 時～19 時

建設業・宅建業・産業廃棄物収集運搬業など各種許認可申請
会社・NPO・社団法人設立手続き